

○ 通りを照らすあかり

三国祭の際に各家が提灯を表に出し、ぼんやりと柔らかく暖かい色彩のあかりで通りが照らされる風景が三国の夜の象徴的な場面です。近年は白色 LED の街灯が設置されるなど、場所によって夜間の雰囲気は異なっています。



三国祭のあかり



足下を照らすあかり



軒下から通りを照らすあかり

今後の課題

- ▶ 夜間も町並みを楽しみながら安心して歩けるように、歩行者の動線に合わせて足元を照らす街灯を設置するなど、歩行者を導く照明が求められます。
- ▶ 町並みの一体感ある雰囲気をつくるために、照明の色彩や照らし方を統一する必要があります。